

建設水道委員会会議録

1. 開催年月日

令和3年12月14日 開会 10時00分 閉会 10時47分

2. 開催場所

委員会室

3. 出席委員名

山下 憲 雄 細 羽 敏 彦 沖 久 教 人 惣 台 己 吉
西 田 久 志 宮 地 俊 則

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議 長 大 滝 文 則

(2) 副議長 荒 木 謙 二

(3) 説明員

副 市 長 猪 原 慎太郎 建設経済部長 岡 本 健 治

建設経済部次長 田 中 大 三 建設課長 曾 根 剛

建設課主幹 森 川 正 康

(4) 事務局職員

事 務 局 長 和 田 広 志 事務局次長代理 藤 井 隆 史

主 任 塩 出 英 也

6. 傍聴者

(1) 議 員 三宅孝之、原田敬久、多賀信祥、三宅文雄、坊野公治、佐藤 豊

(2) 一 般 0名

(3) 報 道 1名

7. 発言の概要

委員長（山下憲雄君） 皆さんおはようございます。

時間が参りましたので、ただいまから建設水道委員会を開催いたします。

初めに、副市長のご挨拶をお願いいたします。

副市長（猪原慎太郎君） 皆さんおはようございます。

12月も中旬となりました。年の瀬ということで、何かと慌ただしい時期を迎えております。また、これから日に日に寒くなってまいります。どうかお体をご自愛いただきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症でございますが、新しい変異株でありますオミクロン株が大変心配されるところでございますが、本市におきましては、それとは別に鳥インフルエンザも大変心配をしているところでございます。

今月6日に福山市の養鶏場で鳥インフルエンザが発生をいたしました。その養鶏場から鶏ふんが搬入されております井原市内の養鶏場において、堆肥施設の封じ込め処置、それから鳥の感染検査が行われました。その結果、8日にPCR検査で陰性が確認をされております。さらに、14日後に再検査が行われるとのことでございます。

本市は、昔から養鶏業が大変盛んな地域であります。採卵鶏約120万羽が飼育をされております。これからクリスマスを迎えます。大量のクリスマスケーキの注文に伴いまして、卵の需要が増大する時期となってまいります。養鶏業者にとって書き入れどきとなるだけに大変心配しておりますし、感染が広がらないことを願っているところでございます。

また、皆さんご承知のとおり、美星町が星空版世界遺産とされる星空保護区に認定をされました。先日、岡山県知事がこのことを踏まえ、星空をテーマとした旅行プランづくりを進めていると県議会において発言をされております。来年夏の岡山デスティネーションキャンペーンと連動させるということをおっしゃっておられるということで、大変心強く思いますとともに、受皿づくりもしっかりと取り組んでいかなければいけないと思っているところでございます。

本日は、建設水道委員会を開催いただきました。皆様方には何かとご多用のお繰り合わせご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

本日は、所管事務調査事項が2件、また午後からは稲倉産業団地の現地視察ということでございます。皆様方には様々な角度から活発な議論をいただきたいと思いますと思っております。

なお、お手元に本定例会報告事項をお配りしております。後ほどお目通しのほうよろしくお願いをいたします。本日はどうぞよろしくお願いをいたします。

〈議長挨拶〉

委員長（山下憲雄君） 本定例会において本委員会に付託されました案件はございません。

〈所管事務調査〉

委員長（山下憲雄君） 本日の所管事務調査事項は、仁井山公共残土処理場整備計画につ

いてと稲倉産業団地の今後の工事予定についてでございます。

このほかに、不測の事態により緊急に所管事務調査事項として追加すべきご提案がございましたら挙手をお願いいたします。

委員（宮地俊則君） 先ほど副市長のご挨拶の中でご紹介いただきましたが、福山市の鳥インフルエンザの件ですが、やはり養鶏場というのは本当に井原市にはたくさんありまして、身近なものでありますし、かつてもそういう事案がございました。テレビ、新聞報道などで井原、井原としきりに言われておりましたので、本市としての動きはどのようにされたのか、今後のことも含めてもう少し詳しく今回の件をご報告いただければと思いますので、よろしくをお願いいたします。

委員長（山下憲雄君） ただいま宮地委員のほうから、本市の鳥インフルエンザへの対応についての提案がございました。

この件につきまして、所管事務調査事項として追加することにご異議はございませんでしょうか。

〈異議なし〉

〈仁井山公共残土処理場整備計画について〉

委員（西田久志君） この建設水道委員会で、今年になってからも何遍か所管事務調査ということでお願いしておるわけでございます。あともう少しというところになったわけでございます。よろしくをお願いいたします。

〈なし〉

委員長（山下憲雄君） この件につきましてはこれで終わります。

〈稲倉産業団地の今後の工事予定について〉

委員（宮地俊則君） スケジュールのほうは大体分かりました。

2点目の、企業立地に伴う地元説明会で、これは当然ながら立地企業が説明会を開き、主催者になるというのは当然理解できるわけですが、そこら辺懸念されるのが、地元の住民の皆さん方と説明会をされる中で、今後工事あるいは操業される中での騒音であるとか、

においがするのかもしれないのかわかりませんが、そこら辺の懸念が当然あるかと思うんです。そのときに、オカモト株式会社さんと地元住民との説明会の中で話されると思うんですが、誘致した市としてはそういったときに関わる考えはあるのか、全くないのか。誘致された地元市としての立ち位置もあろうかと思っておりますので、そのあたり、間に入っていただくことがそういった場合していただけるのかどうか、そこら辺を確認させてください。

建設経済部次長（田中大三君） 当然市のほうが誘致した案件でございますので、そういった説明会等について市のほうが間に入ってやっていくものと考えております。先ほど言われた中で、特に公害などのことにつきましても、協定書の中でそういった品目が決まったときに、市と企業で公害の防止協定といったものについても締結して、地元に影響がないようにということもしておりますので、当然市のほうが仲介しながら進めていくという形になるかと思っております。

委員（宮地俊則君） ありがとうございます。

協定のほうでそこらあたりまで詰められてされているというのは私も存じなかったものですから。だから、地元の皆さんからそういう懸念の声も聞こえてきておりますので、今のお話聞いて大変安心をいたしました。どうぞよろしくお願ひします。

委員（西田久志君） 説明を受けたかもしれませんが、オカモト株式会社さんに関しては、上水道での水の供給について別に問題はないのか。それから、そのことについての了解も得られているのかどうか。要するに問題はないのか教えていただきたいです。

建設経済部次長（田中大三君） 水道につきましては上水道を供給していくということで、もともとの計画のとおり、今工事も進めておりまして、それで供給の量なども特に問題はないということで伺っております。

委員（西田久志君） 工業用水は要らないんですか。

建設経済部次長（田中大三君） 工業用水とかではなくて、通常の上水道の水で供給をさせていただくということでございます。

委員（西田久志君） 分かりました。

委員（沖久教人君） 今、井原市の上水道の料金改定に向けての審議会が行われていると思います。今後、水道料金の改定があるというような情報ももちろんオカモト株式会社さんのほうには伝わっていると思うんですけど、その辺のところはどのような状況でしょうか。

建設経済部次長（田中大三君） 今後料金改定があるということが具体的に伝わっているかという、伝わっていないのではないかと思います。ただ、この募集をかけるときに、あくまでもこの産業団地では上水道を使っていただくということが条件で申込みをいただいておりますので、そういったところにつきましては特に問題はないものとは思っております。

委員（沖久教人君） まだ料金の決定は審議中ですのでなされていないと思うんですが、その審議会の中で商工会議所の方からやはり、使用料が企業によっては大分増えるので、年間の水道の料金、固定費もかさむというような懸念もされておりましたので、そういうことも事前に、受け入れる側として現状と、今後そのようなことも伝えておくべきではないかと思えます。

〈なし〉

委員長（山下憲雄君） 先ほど緊急の所管事務調査の提案がございましたので、これについて先ほどの説明に加えて宮地委員、何かご質問がございますか。

委員（宮地俊則君） もう少し詳細にということで、市としての動きも分かるようなご説明をいただければと思います。

委員長（山下憲雄君） それでは、もう少し具体的な説明ができますでしょうか。

建設経済部長（岡本健治君） それでは、分かる範囲での説明ということでご容赦願いたいと思います。

高病原性鳥インフルエンザが発症いたしますと、本来この防疫作業は岡山県の所管となりますが、その関連する自治体も連携して支援するということになっております。

したがって、今回福山市で発生したわけでございまして、私どもが最初に気になったのは、まず消毒ポイントでございます。普通、発生をいたしましたら、そこから制限区域等の関係で、大体発生から1キロ辺りのところ、それから3キロ辺りのところ、それから10キロ辺り、ここらが大体制限区域になってくるんですが、半径がそのくらいのところに消毒ポイントを設けて、関係する車両の消毒を行って、鳥インフルエンザが広がらないようにという処置をします。消毒ポイントが設置されれば岡山県だけの職員では足りないということで、通常は建設業協会であったり、いろんな民間の力も借りながら、市町村の職員も出て、その運営に当たるということがございます。それと、運悪く殺傷処分ということになりましたら、それに伴う人的派遣あるいはメンタルの関係で保健師等の派遣も出てまいります。そういったことを準備すべく、いろんな情報を受けていたというのが市の状況でございまして、最終的にはそういった事態には至らなかったということでございます。具体的に言いますと、先ほどの副市長の挨拶ともちょっとかぶりますが、第1報を受けたのは12月6日月曜日の午後8時でございまして、これは備中県民局の農畜産物生産課から市の担当のほうへ一報が入りました。これは福山市の養鶏場において鳥インフルエンザの簡易検査で陽性が確認されたと。ただ、その農場の堆肥が井原市の養鶏の農場に運ばれて一緒に処理している

という実態があるようだということで、井原市のその養鶏場が要するに疫学の関連農場になりますという連絡が入ってまいりました。

その後、明日、7日に堆肥舎の封じ込め、これは石灰をまいたりブルーシートで覆うなどして菌がなるべく広がらないようにしています。それを岡山県のほうでやって、その後、関連する鶏舎のPCR検査を行いますよという連絡が入りました。

それで、今度は今朝の12月7日午前10時40分頃、岡山県で高病原性鳥インフルエンザの対策の本部が設置されて会議がなされました。

それにつきましては、今関連する農場が井原市にある、その規模は約12万羽ということなので、そこが感染すると大変なことになりますよというようなことで、そののまず封じ込め処理をやって、それからその家禽卵の出荷の再協議、これをどうするか、今はたちまち止めとくか、それとも許すかというような協議がなされたようでございます。結果的には1日出荷は止めときましようというのが結論でございましたけども、そういった協議がなされております。

それから、同日11時に今度は現地对策本部ができて、実際にこの7日の午後の8時50分に封じ込めの作業が終了したと、それで一旦堆肥のほうの封じ込めは終わったという連絡をいただいております。

その際に、先ほど言った鳥のPCR検査を行っております、その結果が12月8日、これ早朝になりますけども、早朝の4時54分頃に連絡が入ってきまして、PCR検査では陰性でしたという連絡を受けました。

消毒ポイントについても、県境よりも10キロ以上向こうなので、岡山県側に消毒ポイントを設けることはないというのも併せて情報が入りましたので、消毒ポイントはこの時点で設けなくていいということも分かったわけでございます。

それから、同じく8日の午後3時半頃になりますが、そこに最終的な今後の日程ということの連絡が入りまして、堆肥については封じ込めましたが、40日間はそのまま、現状のまましますよと、40日後にウイルスの検査を行って、確認されなければ堆肥として出荷してもいいですよと、だからそれまではもうちょっとそのまま置いときましようという連絡が入っております。

それから、井原市の農場もありますから、井原農場で出された鶏ふん、これに伴いまして、14日という制限があつて、14日は利用できないということがありますので、それはその養鶏場の空いたところの施設で全部固めておきましょうということで、今留め置きをしております。ここで異常等がなければ14日後からその蓄ふんを堆肥化して出してもいいよということになっております。

総合的には12月4日から14日間というのが井原の一応の確認の義務づけということになっておりまして、14日たちましたら、先ほど副市長も申しましたが、各棟から——2棟あるわけなんですけど——5羽ずつ鳥を抽出いたしまして、最終的な遺伝子検査を行うと。問題なければ通常営業に戻るというものでございます。

以上、簡単ですが分かる範囲での説明とさせていただきます。

〈異議なし〉

委員長（山下憲雄君） 以上で、所管事務調査事項調査については終わります。

なお、本日13時より市内現地視察として稲倉産業団地へ行くことになっています。執行部の方には昼からもどうぞよろしくお願いいたします。

ここで執行部の方にはご退席願いたいと思いますが、何かございましたらよろしく願いいたします。

副市長（猪原慎太郎君） 終わりに当たりまして一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、終始熱心に議論をいただきまして誠にありがとうございました。

仁井山の公共残土処理場の整備につきましては、一日も早い工事着手に向けてしっかり頑張っていきたいと思っておりますし、残土処理場は今後、河川関係のしゅんせつ工事などをするに当たりまして大変必要性の高い施設であると思っております。仁井山に限らず、今後とも計画的な整備をしていかなければいけないと思っておりますのでございます。

それから、稲倉産業団地についてでございます。午後から視察をしていただきますけれども、工事は年度末には確実に完成すると思っておりますが、それよりもオカモト株式会社さんが令和5年4月の操業を目指している、これを行政としてしっかり支援をしていくことが大事だろうと思っております。

そのために、今岡山県東京事務所へ派遣をしております西本参事にしっかり寄り添った支援をしてほしいといった指示をしているところでございます。今後ともしっかり支えていきたいと思っておりますのでございます。

それから、最後に鳥インフルエンザでございます。井原市は昔から養鶏が盛んな地域でありまして、たくさんの養鶏場がございます。それぞれの関係者の方が感染防止のために懸命に努力をしておられます。もう感染が広がらないことを、ひたすら願っているところでございます。何事もなく陰性のまま無事年が越せたらいいなというふうに思っているところでございます。

それこそ、これからどんどん寒くなってまいります、皆様方にはくれぐれもお体をご自愛いただきたいと思っております。本日は誠にありがとうございました。

〈執行部退席〉

〈今後の所管事務調査の進め方について〉

委員長（山下憲雄君） 次に、今定例会で実施いたしました所管事務調査2件、それに緊急の所管事務調査が1件ございましたが、今後の進め方について、これを継続調査するか、それとも継続なしか、そこら辺も含めまして皆様のご意見をお伺いしたいと思います。

委員（惣台己吉君） 稲倉産業団地については、継続調査でお願いしたいと思います。

その理由は、午後から現地へ行って委員長に聞いていただきたいんですが、この稲倉産業団地の敷地内の排水をどういうふうにご考慮されるか。これは以前から聞いているんですけど、そういった排水の件も、どこへ流すのかと、恐らく稲木川ではないかと思うんですけど、そういうことも心配されていると思いますので、今日も現地で聞ければ聞いて、その結果や、今後の住民説明会などもどういうふうになるのかということも併せてお聞きしたいなと思っておりますので、継続調査ということをお願いしたいと思います。

委員長（山下憲雄君） 今、稲倉産業団地についてはまだ今後のこともあるので継続調査事項にしたかどうかというご意見でございます。

委員（沖久教人君） 私も継続調査でお願いしたいと思います。

今日午後からの現地視察で、実際に見てさらにいろいろなことが分かると思うんですけども、令和5年4月操業に向けて井原市としてもぜひ、来ていただくには今後末永く、このオカモト株式会社さんとの付き合いをしていくためにも、しっかりとした受入れ体制の整備、その点につきまして継続で調査ということをお願いできたらと思います。

委員長（山下憲雄君） まず、この稲倉産業団地の所管事務調査については継続調査というご意見がございます。

〈異議なし〉

委員長（山下憲雄君） これは取りあえず継続調査ということで置いておきますが、仁井山公共残土処理場整備計画についてはいかがですか。

委員（西田久志君） 仁井山については、買収済みの件数も聞いておりますし、率も9

4%ということで、あとは執行部のほうから結果を発表されるでしょうから、仁井山の件についてはもうこれでいいと思います。

委員長（山下憲雄君） 継続なしということで、分かりました。

〈異議なし〉

委員（宮地俊則君） ごめんなさい、仁井山公共残土処理場のほうは結構です。

ちょっと戻すんですが、稲倉産業団地のほう、継続することにどうこういうことはさらさらないんですけど、ただ、先ほどから聞いていて、今後企業のほうにそういった水質や排水について、どこら辺まで調査できるのかな、なかなか委員会として、時期的に見ても操業するまで、今言われている地元説明会もされるということで、そこで問題が出ればまたあれなんでしょうけど、公害のないような、そういう協定も結ばれているという先ほどの報告があったんで、委員会としてどこら辺まで踏み込んだ調査研究が実際に継続してできるのかなというのがちょっと引っかかっています。そこらあたり、もうちょっと煮詰めていただければと思います。

委員（惣台己吉君） 今日の現地視察でも聞ければいいんですけど、私が言っているのは、敷地内の排水なんかありますよね、雨水とか。これをどういう具合にされるのかということが。去年だったか、木之子地区の市民の声を聴く会のときに、その話が出たのがちょっと頭にあったので。そういう工業用水の汚水ではなしに。

委員（宮地俊則君） 私、てっきり操業排水だと思っていて。

委員（惣台己吉君） それじゃないです。

委員（宮地俊則君） それはまだ今の時点では資料は何も分からないなと思ったんですが。雨水とかそういうのがどうなっているのか。

そうしましたら、今日、聞いて、拝見してみれば。

委員長（山下憲雄君） 一応継続をするとすると、議会の閉会中の具体的調査で件名を明らかにしとかなないといけないと思うんですけども、そこら辺がございしますが、一応皆さん、これ継続調査という形か、それとも取りあえずこれは終わっというて、また新しく問題があればまた再度所管事務調査として上げるということもあると思うんですけども。

委員（惣台己吉君） 継続調査ではなく、再度上げるという形でお願いします。

委員長（山下憲雄君） 一応そうしておいて、今日視察に行って、質問などを交えて、少し掘り下げた上で今後の対応をまた考えるようにしたらいかかと思いますが。

委員（西田久志君） 仁井山公共残土処理場も同じく、先ほど言った継続調査にはしませ

んけれど、もし問題が起きたときにはまた取り上げるということでもよろしく申し上げます。

委員長（山下憲雄君） それでは、この2件についてはそのように決定させていただきたいと思いますが、今回緊急議題に上がった鳥インフルエンザの件については、これはこれで継続なしということできたいと思います。

そういうことで、今回の3件については取りあえず今回で終了しておきたいと思います。

以上で今後の所管事務調査の進め方については終わりいたします。

〈異議なし〉

〈行政視察について〉

委員長（山下憲雄君） 前回の委員会で、視察先へ視察をお願いするに当たり、具体的な視察内容及びその質疑事項等について皆さんからご意見をお伺いしておりました。

それを取りまとめたものを皆さんにお配りさせていただいております。ご覧いただきたいと思います。日程についても資料を作成しておりますので、併せてご覧ください。

それでは、これをご覧いただいて確定したものについては後で正副委員長において微調整はしていきたいと思いますが、まず行政視察については令和4年1月24日ということはもう以前から決定しておりますので、これをまずご確認いただきまして、あと視察先が世羅町の世羅高原6次産業ネットワークで6次産業化に向けてということで現地を視察いたします。それからもう一つは、小田川の合流地点の付け替え工事の現地視察と、高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所の方々から状況について説明を受ける、この2件がございました。あと、スケジュールをそこに書いてございます。

7時50分に井原市役所西駐車場に集合してもらって、ここに帰って来るのが16時35分というスケジュールでございます。

それから、併せて質疑事項については、皆さんから寄せていただきましたのをもう一枚の紙にまとめてございます。

まず、この件については問題ございませんでしょうか。日程とアバウトなスケジュール。あと、細かいことについては正副委員長にご一任いただければと思います。

委員（西田久志君） ありません。よろしく申し上げます。

委員（宮地俊則君） この質疑事項は先方へ送られるんですか。

委員長（山下憲雄君） これで決まればすぐ調整に入ります。

委員（宮地俊則君） 分かりました。

〈異議なし〉

委員長（山下憲雄君） それでは、一応この具体的な内容で先方に当たっていきたいと思います。

あとの微調整は正副委員長に一任していただければと思います。そのように了解を得ておきます。

当日、先方への挨拶については、初めに委員長の私が両方の視察先への挨拶をさせていただいて、終わりに当たっては副委員長に挨拶をお願いしたいと思います。

それから、食事はあらかじめ注文するというので、以前メニューを皆さんにお配りしておきましたが、世羅で食事することに予定しているんですけど、こちらにお任せいただければと思いますが、この間のメニューの中から何か特別食べたいものがあるよと、一緒のものは私嫌だよという人がおられましたら事前にお申し出ください。ありますか。

委員（宮地俊則君） お任せします。

委員（西田久志君） よろしくお願いします。

委員長（山下憲雄君） 今回、事務局からは塩出主任にご同行いただくことになっているんですが、泊まりの場合ですと執行部の方が同行していただくことになっているんですけども、今回日帰りでございますので、執行部の方に同行を依頼したほうがいいのかどうか、その辺については意見がございますか。

委員（沖久教人君） すみません、ちょっと分からないんですが、なぜ泊まりの場合は一緒に行かれて、日帰りの場合は一緒に行かれないのかってということが分からないんです。

委員長（山下憲雄君） 私の想像でございますが、遠方に行って旅館との事務的な受付をやる手続とか……。

〈休憩中、執行部への参加案内について協議〉

委員長（山下憲雄君） 行政視察については終わりたいと思います。以上でこちらからはございませんが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

〈なし〉

〈議長挨拶〉

委員長（山下憲雄君） 以上で建設水道委員会を閉会いたします。ありがとうございました。